

2 次の枠内を記入してください。

障害者手帳	障害手帳の種類		精神障害保健福祉手帳		障害の程度・等級		2級	
	交付機関名	●●市 都道府県市		交付年月日	令和●●年 ●月 ●日		交付番号	第 ●●●● 号
試験当日に関する事	試験会場で車椅子を ☐ 使用する ☒ 使用しない							
	試験当日、補装具を持込使用する場合は、具体的に記入してください。 補装具等の使用なし (※当日、車椅子を使用します。 など)							
	試験当日は受験者本人との個別面接を予定していますが、筆談によるフォローが必要であるなど、試験当日必要と思われることがあれば、具体的に記入してください。 特になし							
業務関連事項	漢字の読み書きの状況			高校卒業程度の読み書きができる。				
	四則演算の状況			2桁程度の足し算・引き算はできる。掛け算は九九ができる。割り算は苦手。				
	パソコン・電卓の使用状況 (特に Word・Excel)			Wordで文字入力ができる。Excelはセルにデータの入力ができ、簡単な関数も使用できる。電卓も使用できる。				
	手先を使う作業の状況 (はさみ類・糊付け等)			はさみやカッターナイフは使える。糊付けやセロテープも使える。				
	集中力・持続力の状況			集中して作業することができる。苦手分野の作業(指先を使う細かな作業)では約30分で注意の持続が難しくなる。				
	指示された内容を理解できるか (家庭や学校等で指示する時に配慮していることがあれば記入してください)			指示を理解できるが、同時に複数の指示を受けると困惑してしまう。過去に経験したことであれば同時の指示でも対応可能。				
	自ら質問できるか			初対面の人に自分から質問するのは苦手である。担当者が決まっていれば、分からないことは質問できる。				
	時間を守れるか			時間に対する意識は強く、休み時間とのけじめや締切を意識した作業もできる。				
	力仕事ができるか			極端に重い物でなければ、運ぶことができる。				
その他事項	その他 (得意な作業等があれば記入してください)			書類を日付順に並べることやナンバリング等、整理整頓に関する作業が得意である。パソコンでの文字の打ち込みが早い。				
	コミュニケーションの状況			初対面の人と話すのは苦手だが、慣れれば話すことができる。				
	日常生活作業等 (ADL・IADL)			日常生活は支障ない。家では掃除や洗濯などの手伝いもしている。				
	配慮事項 (服薬や通院している場合は記入してください)			通院は月1回。朝夕に服薬をしている。頓服薬はなし。				
	その他			(例) 仕事内容の希望など(あれば) ※希望に添えない場合もあります。				